

教学半也

令和7年7月16日

No.8

全ての読者対象

第2回授業づくり研修会 令和7年6月16日（諏訪地区） 17日（上伊那地区） 『めりはり』のある授業とは？

前回のテーマ『ねらい』に引き続き、今回のテーマは授業の『めりはり』。指導主事の模擬授業や各教科等に分かれてのグループ懇談を通して「触れて」、「関わって」、「感じて」、「考えて」の4つの場面を共有し、『めりはり』のある授業づくりについて考えました。



模擬授業をうけて、「体験→気づき」の中で、注目すべき観点の提示や既習事項との関連を大切にすることで本時の授業の課題が見つかりやすくなるとわかりました。子供たちの中から課題を見つけ出すための工夫を私も考えて取り入れていきたいです。（参加者の感想）

授業の中で、「触れて」、「関わって」、「感じて」、「考えて」のような活動を取り入れ、主体的に学びたいような授業づくりをしていきたいです。また、この題材では何を学ばせたいのかを明確にし、そのための流れを考えていくべきだと思いました。（参加者の感想）

個人的に「勉強もやらせなきゃ、自立活動もしなきゃ、生活習慣の面も支援しなきゃ…」と焦っていたところがありました。まずは、「その子供の困り感」に立ち返って、1日の流れを組み立てたいと思いました。また、SSTの実践の基本を知ることができたことも、非常に嬉しかったです。（参加者の感想）

授業構想や単元構想をたてる時に大切なことは、その活動を通して『子供の学び』にどのような期待ができるのかを十分に考え、「触れて」、「関わって」、「感じて」、「考えて」等の活動を設定することだと思います。あらためて、子供が主体的に学びに向かうことができるよう、明日からの授業改善に向かおうとする参加者の皆さんの姿が印象的でした。



【お知らせ】

第3回授業づくり研修会を8月19日（火）に計画しています。午前は伊那合庁を会場に参集による指導主事の模擬授業や講義とグループ懇談、午後はオンラインによる指導主事とのグループ懇談を予定しています。

要項は7月中旬に各学校にメールにて送付する予定です。要項が届きましたら内容を確認し、教頭先生にご相談、校長先生にご決裁をいただいた上で、お申込みください。